

ばら

福山市民病院広報誌

特集

2025年度地域医療連携実績

新規導入技術 (PMEG:
血管内治療) のご案内

「周産期母子医療センター」
設立に寄せて



福山市民病院理念

質の高い安全な医療を通じて「安心と生きる力とやすらぎ」を
地域に提供するとともに、こころ豊かな医療人を育成する

地域医療支援病院

地域がん診療
連携拠点病院

救命救急センター

肝疾患診療
連携拠点病院

災害拠点病院

臨床研修病院

緩和ケア病棟
承認施設

第二種感染症
指定医療機関

DPC 特定病院群

がんゲノム医療
連携病院

小児救急医療
拠点病院

紹介受診重点
医療機関

巻頭言

地域医療の 未来をつくる病院移転

2024年3月に始まった福山市民病院の増改築工事が大きな節目を迎えようとしています。

2026年8月から新本館1期の運用を開始します。8月8(土)・9(日)日の両日に、救命救急センター、一部の一般病棟の移転を行い、同時にハイリスクな出産に対応する「周産期母子医療センター」を開設します。

当院はこれまで地域医療支援病院として、さらに救命救急センターと地域がん診療連携拠点機能を併せ持つ病院として、地域の皆さまに高度かつ専門的な医療を提供してまいりました。少子高齢化や医療ニーズの変化が進む中で、これからも地域に必要とされ、より貢献できる病院であり続ける、

その実現に向けて、新本館2階に移転する救命救急センターの屋上にヘリポートを新設し、直結できることや、入口に救急車が寄り付けることで、患者搬送動線が向上し、より安全でスピーディーな医療の提供が期待されます。

また、がん治療においては、2026年末に高精度放射線治療装置(RALS:遠隔操作密封小線源治療)を導入し、体への負担の少ない治療も可能になります。

また、今回の新本館1期運用では、これらに加え、新たに周産期母子医療センターを整備します。同センターには母体・胎児集中治療室や新生児集中治療室を整備し、切迫早産などリスクのある出産や、臓器に異常のある新生児に対

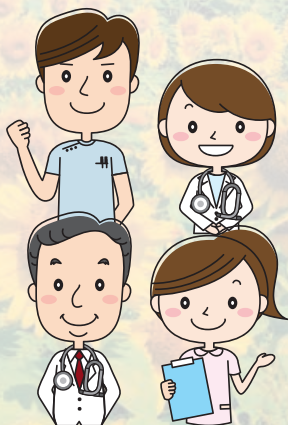
応します。近隣市町からの利用も想定しており、安心して出産・育児に臨める広域的な高度な医療の提供を見据えています。新たな施設や設備は患者さんやご家族に、より安全で質の高い医療を提供するための基盤となります。

8月を目前に移転対象部署の職員をはじめ、多くの職員が日常業務と並行して移転準備に取り組んでいます。患者搬送や物品搬送のワーキンググループが立ち上がり、診療部門、看護部門、医療技術部門、事務部門が垣根を越えて知恵を出し合っています。特に移転対象部署では、患者さんへの医療提供を止めることなく、日常業務を継続しながら、新部署での業務動線を考えた物品の配置や整理な



副院長・看護部長
内田 朋子

ど、多くの課題があります。今までに経験したことのない大きなタスクも抱えるなか、一つひとつの課題に向き合い、日々の診療を守りながら新たな病院づくりに取り組む姿は、当院の大きな力であり、あらためて職員の使命感と専門職としての誇りを実感しています。この事業は決して一部の部署だけで成し遂げられるものではなく、病院全体の協力と支えによって進めていくべきものと強く思います。



「ばら」129号 CONTENTS

2 巻頭言

特集

- 4 2025年度地域医療連携実績
- 6 新規導入技術 (PMEG：
血管内治療)のご案内
- 8 「周産期母子医療センター」
設立に寄せて
- 10 「新本館 I 期運用開始」に向けて
- 12 2026年度 病院事業会計予算の
概要について

連載

- 13 第65回 歯っと思ったこと
- 14 最終回 かんこちゃんのはたらく肝臓
- 15 HPリニューアルについて
市民公開講座案内
管理者室より、研修医日記、
外来診療担当表、公式Instagram
- 16 救急 (夜間・休日) 外来を
受診される方の入口が変わります

〔表紙写真〕
新本館の外観

一方で、当院の増改築事業は、現
地建替えて、完成までには長い道
のりが続きます。新本館 I 期完成
後は、旧本館の南側の部分を解体
した跡地に新本館の残り半分を整
備し、既存の東館と西館の改修も
進めていきます。病院機能を維持
しながら段階的に施設整備を進め
ていくため、期間中(〜2032年
度末)は、患者動線の複雑化や搬送
など移動距離の増加、解体工事な
どから発生する騒音・振動など、さ
まざまな影響が考えられます。ま
た、外来診療ブースや会議・研修場

所の確保困難など、運営上のさま
ざまな課題への対応も求められま
す。
病院移転は建物を移す事業では
なく、地域医療の未来をつくる事
業です。新たな医療環境のもとで、
これまで以上に地域の皆さまに信
頼される病院となるための新たな
スタートです。職員一人ひとりの
力を結集し、この大きな変革を乗
り越えていきたいと考えていま
す。
引き続き、ご理解とご支援を賜
りますようお願い申し上げます。

新本館2階
救急外来待合



新本館2階
救急高度治療室 (EHCU)



福山市民病院 2025年度 地域医療連携実績

平素から、患者さんを中心とした医療連携にご協力いただきありがとうございます。
今後も速やかな連携に努めてまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いします。

1. 紹介率・逆紹介率

	2023年度	2024年度	2025年度
紹介率 (%)	81.2	80.3	79.0
逆紹介率 (%)	169.3	164.4	167.9
初診患者数 (人)	13,197	13,947	13,888
紹介患者数 (人)	10,720	11,202	10,973
逆紹介患者数 (人)	22,340	22,929	23,318



2. 紹介登録

(単位: 件)

福山市中央部		
医療機関名	紹介数	
1 うだ胃腸科内科外科クリニック	386	
2 福山医療センター	223	
3 小池病院	182	
4 脳神経センター大田記念病院	178	
5 松岡病院	171	
6 山陽病院	161	
7 セントラル病院	148	
8 福山夜間小児診療所	115	
9 たかはし小児科	96	
10 白河産婦人科	94	

福山市東部		
医療機関名	紹介数	
1 日本鋼管福山病院	340	
2 福山リハビリテーション病院	274	
3 井上病院	248	
4 永原内科クリニック	221	
5 福山第一病院	217	
6 森近内科	189	
7 ゆう耳鼻いんこう科クリニック	187	
8 水永リハビリテーション病院	164	
9 コム・クリニック佐藤	139	
10 いけだ小児科	118	

福山市西部		
医療機関名	紹介数	
1 はしもとじんクリニック	47	
2 西福山病院	30	
3 びんご整形外科クリニック	26	
4 ひとみ眼科	13	
5 佐藤脳神経外科	9	
6 錦織眼科医院	8	
6 石井内科	8	
8 宮地クリニック	7	
9 橘高クリニック	6	
10 岡本歯科医院	5	
10 下永病院	5	

福山市南部		
医療機関名	紹介数	
1 あおぞら整形外科	96	
2 沼隈病院	68	
3 福山南病院	66	
4 小林医院	38	
5 しんがい内科・循環器内科 沼南クリニック	24	
6 福田内科小児科	21	
7 かたおか内科クリニック	20	
7 さいきじんクリニック	20	
7 岡田クリニック	20	
10 高橋医院	18	

福山市北部		
医療機関名	紹介数	
1 いしいクリニック	534	
2 中国中央病院	490	
3 寺岡記念病院	340	
4 小島病院	263	
5 いまだ内科医院	227	
6 まが医院	166	
7 よしたかクリニック	154	
8 やまてクリニック	144	
9 高橋脳神経外科・循環器内科	126	
10 岡本耳鼻咽喉科医院	111	

府中市・神石高原町		
医療機関名	紹介数	
1 府中市市民病院	288	
2 なかはまハートクリニック	204	
3 神石高原町立病院	132	
4 佐野内科医院	54	
5 ひがき眼科	42	
6 なんば医院	33	
7 府中市市民病院	30	
8 谷医院	26	
8 渡辺内科医院	26	
10 ほそや内科クリニック	24	
10 佐々木内科	24	

井原市		
医療機関名	紹介数	
1 井原市立井原市民病院	374	
2 井原第一クリニック	273	
3 小田病院	101	
4 ほそや医院	75	
5 平木眼科医院	61	
6 前谷内科クリニック	40	
7 菅病院	34	
8 タカヤクリニック	31	
9 山成医院	25	
9 青木内科	25	

笠岡市		
医療機関名	紹介数	
1 笠岡第一病院	212	
2 笠岡市立市民病院	131	
3 さとう消化器肛門外科	62	
4 はらだ眼科	58	
5 晴れの国お産所	35	
6 さなだ耳鼻咽喉科医院	26	
7 塚本歯科	22	
8 村上脳神経外科内科	20	
9 笠岡中央病院	17	
10 武田耳鼻咽喉科医院	16	



※地域医療連携課にご紹介いただいた件数です。

3. 開放病床の利用実績

	2023年度	2024年度	2025年度
利用患者数(延べ)	157	100	174
利用登録医数(実数)	3	2	3
利用日数(延べ)	1,575	1,102	1,771
共同指導回数(延べ)	75	63	93
病床利用率(%)	86.1	61.4	97.0

5. 患者相談

(単位:件)

専任の MSW、看護師などが患者さんの相談に対応しています。

	2023年度	2024年度	2025年度
医療相談	3,769	3,401	3,736
医療費相談	1,113	949	954
制度・その他	2,656	2,452	2,782
脳卒中相談	90	66	119
がん相談	3,786	3,252	2,390
肝疾患相談	817	826	865
合計	8,462	7,545	7,110

7. 入院支援

(単位:人)

入院予定の患者さんが不安や疑問を解消するため入院前面談を通して支援しています。

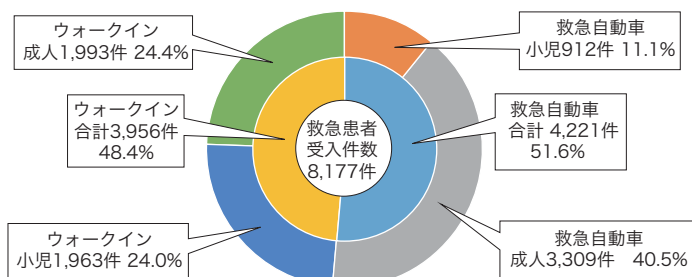
内科、腫瘍内科、循環器内科、脳神経内科、外科、呼吸器外科、泌尿器科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、乳腺甲状腺外科の9科の外来患者さん(成人)が対象です。PFM(PATIENT FLOW MANAGEMENT)～外来から始まるチーム医療による入退院支援～【呼称:BATON】も呼吸器外科・乳腺甲状腺外科で開始しています。

	2023年度	2024年度	2025年度
支援数	3,825	3,831	4,216

9. 救急患者受入

(単位:人)

	2023年度	2024年度	2025年度
救急自動車	4,350	4,263	4,221
うち、小児	1,029	860	912
うち、成人	3,321	3,403	3,309
ウォークイン	4,384	4,149	3,956
うち、小児	2,181	2,028	1,963
うち、成人	2,203	2,121	1,993
合計	8,734	8,412	8,177
うち、小児	3,210	2,888	2,875
うち、成人	5,524	5,524	5,302



4. 医療機器の共同利用

(単位:件)

	2023年度	2024年度	2025年度
CT	944	936	953
MRI	194	274	248
RI	574	590	591
PET-CT	335	345	344

6. 退院患者支援(転帰先)

(単位:件)

退院支援看護師が、入院時から早期の退院・転院に向けた支援・調整に取り組んでいます。また、外来支援により、外来通院中の患者さんの療養の場の相談・調整を行っています。

	2023年度	2024年度	2025年度
退院支援	2,536	2,852	2,825
自宅退院	898	1,071	1,011
転院(病院)	1,371	1,480	1,545
転院(診療所)	55	56	32
施設 ※1	124	127	88
その他 ※2	88	118	149
外来支援	2,127	2,368	2,931
合計	4,663	5,220	5,756

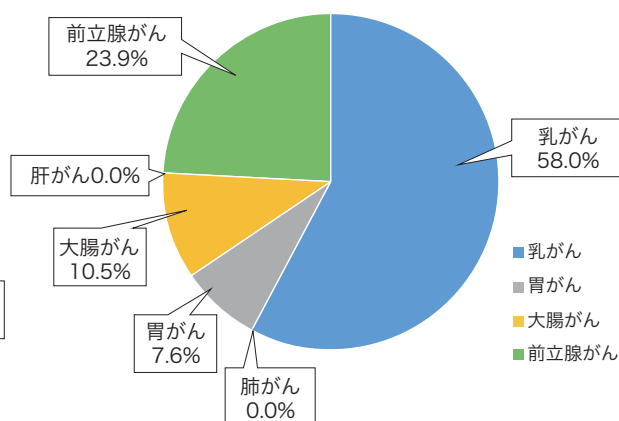
※ 1:介護施設、社会福祉施設 ※ 2:支援中止、死亡

8. 地域連携クリティカルパス登録

(単位:件)

	2023年度	2024年度	2025年度
がん	285	265	276
乳がん	124	128	160
肺がん	0	0	0
胃がん	27	29	21
大腸がん	23	21	29
肝がん	8	1	0
前立腺がん	103	86	66
脳卒中	82	53	82
大腿骨	77	86	73

がん地域連携クリティカルパス登録割合
(2025年度)



新規導入技術(PMEG:血管内治療)のご案内

～韓国、台湾での技術習得、意見交換を通した先進技術導入について～

心臓血管外科 林田 智博

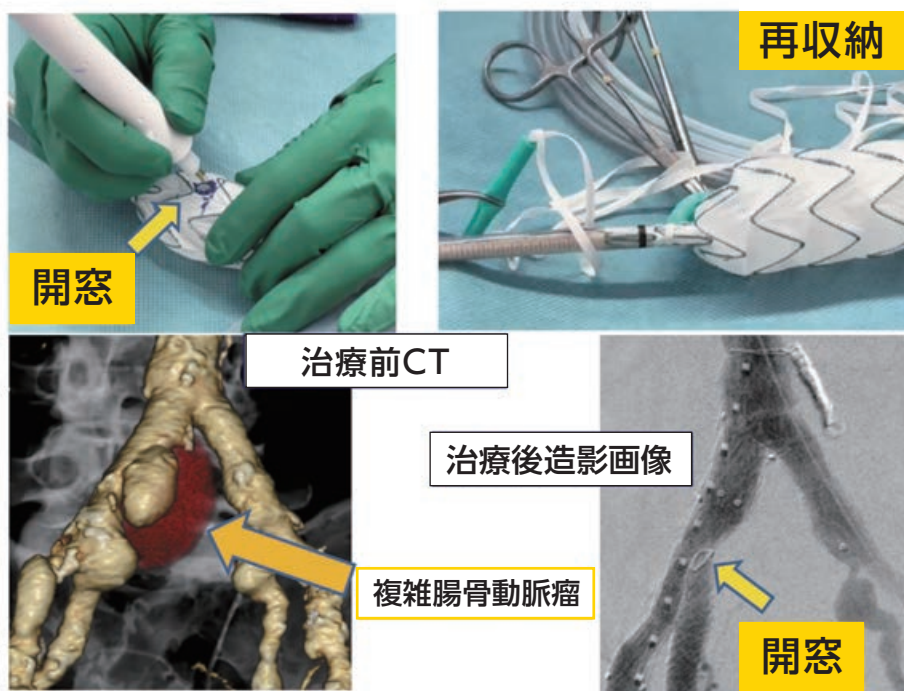
動脈瘤は動脈が大きくなり、最終的には破裂に至る病気です。動脈硬化が病因の多くを占めることもあり、患者さまの多くは高齢の方です。さまざまな部位に発生しますが、破裂するまで症状を認めず、健診や他分野の精査で行ったCTで発見されることの多いこの病気は、破裂した場合、6割を超える致死率となります。

緊急の場合や超高齢の方、寝たきりの方に対しては、血管内治療であるステントグラフト内挿術で対応するというのが一般的ですが、ステントグラフトは複数の企業がさまざまな規格で作成しているものの、長さや径、屈曲など、本人の血管に合わない場合、多くの病院では、やむなく高いリスクを覚悟の上で開胸、開腹手術を選択しているのが現状です。

その現状を変えるべく当院では、2025年9月よりPMEG(Physician modified endovascular grafts)と呼ばれる先進技術の導入を行っております。

企業性ステントグラフトを一度体外で展開し、穴を開けるなどの加工を施したうえで再収納し、留置を行うという高い技術力を要する手術であり、実施可能な病院は極めて少数です。分枝血管血流の維持なども可能となる優れた術式となります。(写真1)

写真1▶



以下の患者さまは、年齢に関わらず是非ご相談ください。
セカンドオピニオンも受け付けております。

動脈瘤(胸部 > 4.5cm、腹部 > 4cm、腸骨 > 2cm)
大動脈解離、外傷

受診案内:心臓血管外科外来 水曜日: 林田 智博

日本の10倍以上の症例数を誇る、韓国、台湾の大病院にて意欲ある先生方と共に技術を習得し、当院でも既に15例を超える患者さまに有効な治療を行うことができました。

(写真2：筆者は左より2人目)

当院で2022年以降力を入れてきました心房細動合併症である、心原性脳塞栓症に対しての胸腔鏡下左心耳閉鎖も50例を超える症例数となっております。(写真3)

写真2▶



心房細動の患者は年間4ー8%、脳梗塞をきたすとされます。予防の為に抗凝固薬を生体内服することが標準的ですが、出血性合併症(脳出血や消化管出血など)をきたしやすくなるにもかかわらず、発症率を2ー4%までしか抑えることができません。

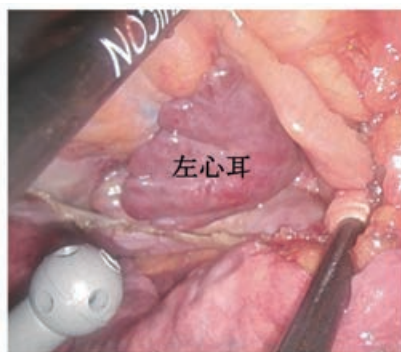
脳梗塞となれば生活に支障をきたすことや、命を落とす危険もあります。

心房細動による血栓の92ー98%が左心耳にできるとされています。1cm程度の穴を開け、内視鏡下で左心耳閉鎖を行う本術式は約1時間の手術です。抗凝固薬を中止でき、脳梗塞の発症は年間0.25%程度に抑えられます。

岡山、福山地域では当院が初導入し、通算50例以上の経験を積んでまいりました。

写真3▶

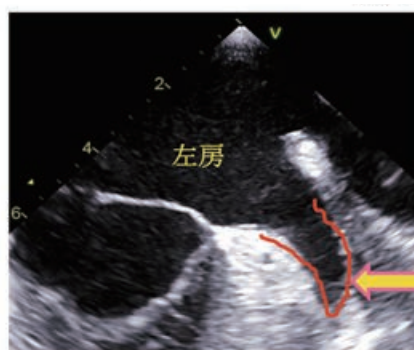
術中写真



閉鎖デバイス



術中経食道超音波検査



閉鎖前後

左心耳



2026年4月より当科は心臓血管外科専門医での3人体制となりました。今後もそれぞれの患者さまに最適な治療の選択、実施ができるよう工夫し、臨床に生かしてまいります。

～追伸～ 写真4は台湾の東京大学にあたる台湾大学病院 心臓血管外科学教室より頂いたクマさんのぬいぐるみです。外来で一緒にお待ちしております。

写真4▶



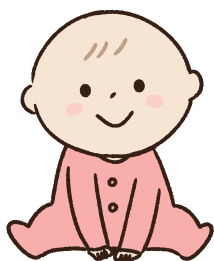
医療センター」設立に寄せて

小児・新生児科 医師 岡村 朋香

周産期母子医療センターとは、妊婦さん・お母さんと胎児・赤ちゃんに専門的で高度な医療を提供するための場所です。2026年8月8日の開設に伴い、産婦人科病床を従来の20床から30床へ増床します。さらにMFICU (maternal fetal intensive care unit) という切迫早産や多胎妊娠などハイリスク妊娠に対応する治療室を6床新設します。妊娠中には、重症妊娠高血圧症、糖尿病合併妊娠、前置胎盤、双胎妊娠、胎児異常などさまざまな問題が起こることがあります。そのような治療が必要な妊婦さんを24時間体制で受け入れ、麻酔科、脳神経外科、循環器内科、救急科、内科、外科、小児・新生児科、小児外科など、当院の各科専門スタッフが連携して妊婦さんと胎児の命と健康を守ります。

一方、生まれてくる赤ちゃんへのサポート体制も大幅に強化されます。予定より早く生まれたり、何らかの病気をもって生まれたため治療が必要な赤ちゃんが新生児医療を行うNICU(neonatal intensive care unit)、入院が必要だけでも比較的元気な赤ちゃんが入るGCU(growing care unit)を新しくオープンします。赤ちゃんの中には胎児期から脳や肺、心臓、腎臓などの臓器に病気を指摘される子もいます。また、生まれるときに異常があったり、生まれた後に病気が見つかったりする赤ちゃんもいます。そんな赤ちゃんたちがおうちに帰って元気に大きくなるために必要な治療を行うのがNICUです。

当院はこれまで、プレNICUとして比較的軽症の赤ちゃんを受け入れてきましたが、8月8日以降はNICU6床、GCU6床として本格的に始動します。今後はこれらを段階的に拡充し、より重症な赤ちゃんの治療にも対応していきます。最終的には、「福山で出産する妊婦さん・福山で生まれる赤ちゃんはどんな病気でも当センターで受け入れる」という体制の確立を目指します。



新生児治療回復室
(GCU)

「福山で妊娠・出産するすべての妊婦さんと赤ちゃんを、住み慣れたこの地で守り、診療する」という目標を掲げ、当院に周産期母子医療センターが開設されました。

福山市で安心して赤ちゃんを産めるように尽力してまいります。8月8日にオープンする福山市民病院の周産期母子医療センターを、どうぞよろしくお願いします。

福山市民病院「周産期母子

東4病棟 助産師

広島県の高度周産期医療は広島市周辺に集中しており、福山・尾道・府中などを含む備後地域には、現在総合周産期母子医療センターがありません。そのため、ハイリスク妊娠や超早産、母体・胎児管理を要する症例では、倉敷市・岡山市・広島市など県外・遠方への母体搬送が必要となる場合があります。搬送に伴う長距離移動は、妊産婦さんの身体的負担だけでなく、ご家族にとっても大きな精神的負担につながっています。こうした地域における課題の中で、福山市民病院には備後地域の周産期医療を支える中核的役割が期待されています。

2026年4月からは、新たに産婦人科医1名、新生児科医1名が加わり、周産期医療体制のさらなる強化を進めています。医師・助産師・看護師・薬剤師・理学療法士が密に連携し、日々準備を重ねています。

当院が周産期母子医療センターとして機能することで、地域内で安心して出産できる環境づくりが進み、妊産婦さんや新生児の安全確保はもちろん、地域医療機関との連携強化や周産期医療人材の育成にもつながります。地域の妊産婦さんとそのご家族が、住み慣れた地域で安心して出産・育児を迎えられるよう、スタッフ一力を合わせ、これからも周産期医療の充実に努めてまいります。



新生児室



新本館 有料個室



3階ホール

「新本館Ⅰ期運用開始」に向けて

管理課建設担当課長 河村 亮

1. 2026年6月末時点の進捗状況

2026年8月の新本館Ⅰ期運用開始に向け、工事は最終段階を迎えています。6月末時点で建物内部はすべて完了し、現在は、設備機器の試験や行政検査などを順次実施しています。併せて、外周部の整備工事を行っています。

2. これまでの経過

当院の増改築事業は2024年3月に着工し、2032年度の全整備完了まで約9年をかけて進める大規模事業です。設計期間を含めると、2020年度から13年にわたります。現在は事業の折り返しとなる7年目を迎え、いよいよ新本館Ⅰ期の運用開始が目前に迫っています。



3. 新本館Ⅰ期運用開始に向けて

「患者搬送WG」、「診療制限WG」、「物品搬送WG」の3つのワーキンググループを設置し、関係部署の実務担当者による検討を進めています。また、2回の移転リハーサルを実施します。

患者搬送WG／診療制限WGで検討すること

- ・いつ、どうやって患者さんを搬送する？
- ・搬送中に患者さんが急変したら？スタッフ体制は？ 等

物品搬送WGで検討すること

- ・システムの切り替えはどのタイミング？
- ・いつ、何処に物品を移動する？ 等

WGの様子





Q & A コーナー



Q 新本館Ⅰ期の運用により、どんな機能が強化されるの？

A

- ☞ リスクの高い分娩や重症新生児にも対応できる体制が強化されます。
- ☞ 屋上ヘリポートを整備し、より迅速な救命医療を実現します。
- ☞ 2026年度末に新たな放射線治療装置(RALS)を導入し、身体的負担の少ないがん治療も可能となります。

Q 新本館Ⅱ期の運用はいつ？どんな機能が強化されるの？

A

- ☞ 新本館Ⅱ期は2031年度の運用を予定しています。主な医療機能が西館と新本館に集約されます。
- ☞ 現在分散している外来部門や病棟が一体的に整備されることで、分かりやすく利用しやすいフロアレイアウトになり、患者さんの移動負担の軽減や診療の効率化につながります。また、新本館2階にⅠ期で整備した救命救急センターと、Ⅱ期で整備する手術室などが集約され、救急医療提供体制が強化されます。

4. おわりに

当院の増改築事業は、病院を運営しながら敷地内で建て替えを進める全国的にも難易度の高い事業です。工期をⅠ期・Ⅱ期に分け、必要な医療機能を確保しながら整備を進めています。また、市内の公共施設で初となる免震構造の採用や、県内の公立病院で初となるECI方式による工事発注、さらには全国で初となる県境を越えた公立病院間の医療連携による特別な起債の活用など、多くの新たな取り組みにも挑戦してきました。

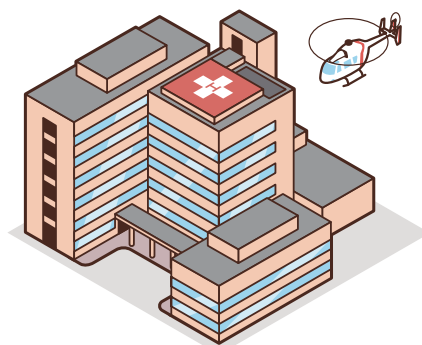
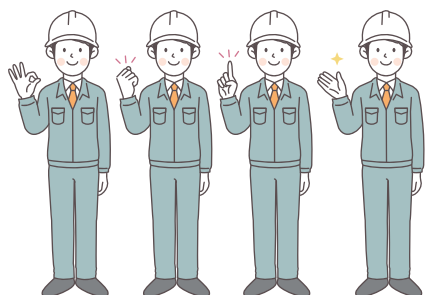
8月8日に、新病院の約半分にあたる新本館Ⅰ期の運用を開始します。全ての整備が完了するまでには、なお6年余りを要し、限られたスペースでの運用や、院内動線の複雑化などによりご不便をお掛けする場合がありますが、未来の地域医療を支える病院づくりのため、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。



豆知識 ～数字で見る新本館Ⅰ期～

延べ面積・・・・・・・・・・ 約15,800㎡
病床数・・・・・・・・・・ 198床
(うち48床が周産期母子医療センター)
鉄骨使用量・・・・・・・・・・ 約2,100t
コンクリート使用量・・・・・・・・ 約15,400㎡
建物重量(基礎を除く)・・・・・・ 約24,100t

免震装置・・・・・・・・・・ 48基
ヘリポートの耐荷重・・・・・・・・ 8tまで(災害時26tまで)
ヘリポートの大きさ・・・・・・・・ 約21m×約21m
関わった建設作業員・・・・・・・・ 延べ66,500人





●概要

当院は、高度急性期・急性期機能を担う圏域の基幹病院として、「救急医療」・「がん医療」・「高度専門医療」を大きな柱に、地域の医療機関等との連携を図りながら質の高い安全な医療の提供に取り組んでいます。

今年度は、新本館Ⅰ期工事が完了し、8月に新たに周産期母子医療センターと、救急機能をより強化した救命救急センターを開設します。さらに東館・西館の改修工事や高度医療機器、院内ネットワークの整備なども行います。

また、周産期母子医療センターの円滑な開設に向け、助産師・看護師等を増員し、人材育成も推進していきます。

引き続き、福山市民病院経営強化プランのもと、持続可能な経営を維持しつつ、増改築事業を円滑に進めるための取組を行っています。

●業務の予定量

1 病床数

506床

(うち感染症病床 6床)

2

患者数

(1)入院 15万5,125人

1日平均 425人

(2)外来 21万3,369人

1日平均 885人

ア 市民病院 21万3,285人

1日平均 885人

イ 加茂地区診療所

1日平均 84人

7人

3

主要な建設改良事業

病院増改築事業

69億5,752万円

有形固定資産購入

10億6,503万円

MRI装置、

全身用X線CT装置 ほか

●当初予算

今年度は、入院・外来収益をはじめとした収入の増加を見込むものの、給与費や材料費の増加などを見込んでいることから、昨年度に引き続き、収支不足の予算を計上しています。



●資本的収入及び支出

(単位:円)

区 分	2026年度 予算額	2025年度 予算額	増 減 額
資本的収入	85億6,552万	119億2,808万	△33億6,256万
企業債	76億5,620万	112億2,220万	△35億6,600万
負担金	9億 932万	7億 588万	2億 344万
資本的支出	93億9,657万	135億1,325万	△41億1,668万
建設改良費	80億2,254万	115億9,340万	△35億7,086万
企業債償還金	13億7,403万	9億1,985万	4億5,418万
投資	—	10億	△10億

●収益的収入及び支出

(単位:円)

区 分	2026年度 予算額	2025年度 予算額	増 減 額
病院事業収益	255億6,816万	239億9,679万	15億7,137万
医業収益	230億1,228万	221億2,029万	8億9,199万
入院収益	152億 225万	150億8,363万	1億1,862万
外来収益	68億2,558万	61億3,900万	6億8,658万
その他医業収益	9億8,445万	8億9,766万	8,679万
医業外収益	25億5,588万	18億7,650万	6億7,938万
負担金交付金	12億 249万	8億 516万	3億9,733万
国・県補助金	9,581万	9,398万	183万
その他医業外収益	12億5,758万	9億7,736万	2億8,022万
病院事業費用	269億2,772万	256億3,852万	12億8,920万
医業費用	257億 621万	238億8,824万	18億1,797万
給与費	121億6,438万	113億5,494万	8億 944万
材料費	85億4,930万	78億1,362万	7億3,568万
経費	36億 291万	33億2,527万	2億7,764万
減価償却費	12億2,160万	12億5,096万	△2,936万
その他医業費用	1億6,802万	1億4,345万	2,457万
医業外費用	12億1,651万	17億4,528万	△5億2,877万
予備費	500万	500万	—

歯

つとと思ったこと

お口の健康が命を守る：口腔がんを遠ざけるための知恵

「がん」と聞くと、体の深いところにあるイメージがあるかもしれませんが、しかし、お口の中にできる「口腔がん」は、私たちが自分の目で見て、触って、防ぐことができる数少ないがんです。

現在、日本人の口腔がんは増加傾向にあります。正しい知識があればリスクを劇的に下げることができます。命と、「食べる・話す」という人生の楽しみを守るためのポイントを分かりやすくお伝えしたいと思います。

1. お酒とタバコの

「危険な掛け算」



口腔がんの最大の敵は、喫煙と飲酒です。意外に知られていないのが、この2つの「組み合わせ」の恐ろしさです。

タバコだけでもお酒だけでもリスクは高まりますが、「お酒を飲みながらタバコを吸う」習慣がある方は、特に注意が必要です。アルコールがタバコに含まれる発がん物質を粘膜に溶け込ませやすくしてしまうため、発がんリスクは相乗的に35倍以上に跳ね上がるのが研究で明らかになっています。

2 「口の中の小さな傷」を

放置していませんか？



「いつもの口内炎だから」「入れ歯が

少し当たただけだから」と我慢していませんか？ 実は、お口の中への「長引く刺激」ががんの原因になることがあります。

・合わない入れ歯が同じ場所に当たり続けている

・虫歯で欠けた歯が舌にこすれて痛い

・外れた詰め物が鋭利に尖っている
こうした刺激が数か月、数年と続くと、傷ついた細胞が再生する際に「コピーミス」を起こし、がん化しやすくなるのが分かっています。

● 今日からできる対策…お口の中に

「常に当たる場所」があるなら、すぐに歯科医院へ。尖った部分を丸めたり、入れ歯を調整したりするだけで、リスクが大幅に減少します。

3. 食卓に「彩り」を。

食事で防衛力を高める



日々の食事も大切な予防策です。ほうれん草やブロッコリーなどの緑黄色野菜や果物には、細胞のダメージを防ぐ成分（酸化ビタミンなど）がたっぷり含まれています。世界的な報告でも、野菜や果物の摂取は口腔がんのリスクを「確実に下げる」と期待されています。

命を救う「1分間セルフチェック」

口腔がんの初期は、「痛くない」ことが多いです。月に一度、鏡の前で自分の口の中を観察する習慣をつけま

しょう。

1. 2週間以上治らない「口内炎」はないか？

2. 粘膜に「不自然な白い斑点」や「赤い斑点」はないか？

3. 指で触れたとき、周りより「しこり」や「硬い部分」はないか？

これらに心当たりがあれば、痛みがあるかないかに関わらず、早めに専門医（歯科口腔外科など）を受診してください。

まとめ…歯科医院は

「口腔粘膜」を守る場所

口腔がんは、進行すると「食べる」「話す」といった日常の喜びを奪ってしまいます。しかし、日々の習慣と定期的なチェックがあれば、決して怖い病気ではありません。

まずは今日、鏡の前で「あっかんべー」をして、自分の舌や頬の裏側を眺めてみてください。そして、半年以上検診を受けていない方は、ぜひ歯科医院の予約を。歯医者さんは歯を治すだけでなく、「お口全体の粘膜の健康」を見守るプロフェッショナルなのです。

【主な引用文献】

・Hashibe M, et al. (2009) / 飲酒・喫煙の相乗リスクについて
・Pavia M, et al. (2006) / 口腔衛生とがんリスクについて
・WCRF/AICR (2018) / 食習慣とがん予防について



かんこちゃんの

はたらく肝臓

～知っとったら、ええ肝じ♡～

最終回 ウコンは体に良いの？悪いの？

地域医療連携課

肝疾患相談室 山部 美智代

飲み会の前に
ウコンを飲めば
二日酔いしない？

ウコンのイメージは？

それ、
本当ですか？

ウコンは
肝臓に良い？



ウコンの効能

クルクミンは水に溶けにくい性質があり、**そのままでは体内での吸収率が低いため、吸収率を上げるための工夫**が施されています。

消化液の分泌促進：消化液が分泌促進されることで胃粘膜が保護される

➡ 二日酔いに効く、また食欲増進させる作用もあるとされている

肝機能向上：胆汁の分泌の促進

➡ 胆汁は消化・吸収を助け肝臓のはたらきを補助し老廃物を体外へ排出する働き

抗酸化作用：活性酸素の発生を抑える働きが期待でき抗菌・炎症抑制作用がある

➡ 「歯周病」予防に役立つことが期待される

CORE PACLETTE by LOTTE 「ウコンとは？効能や接種の際の注意点」より引用

食品として通常量（スパイスとしての使用量程度）を摂取する分には、毎日摂取しても問題ないと考えられています。ただし、**サプリメントとして高用量を長期間摂取する場合の安全性は十分に確保されていませんので、定期的に健康診断を受け、肝機能をチェックすることをお勧めします。**

健康コラム（漢方・薬膳・腸活 etc）「ウコンの効果と危険性を徹底解説」より引用

この
工夫されたウコンが
肝機能障害を
引き起こす原因となる
要注意！

ウコンを摂取する際のポイント！

- ・食品として通常量を摂取する分には比較的**安全**。
- ・サプリメントとしての高用量・長期摂取には**注意**が必要。
- ・肝疾患、胆道疾患、出血性疾患のある方は**摂取を避ける**。
- ・薬物との相互作用の可能性を考慮し、**服薬中の方は医師に相談**。
- ・体調の変化を感じたら速やかに摂取を中止し、**医療機関を受診**。



CORE PACLETTE by LOTTE 「ウコンとは？効能や接種の際の注意点」より引用

インフォメーション

【福山市民病院 肝臓病教室のお知らせ】

2026年 8月21日(金) 14時～15時

10月20日(火) 14時～15時

【肝疾患市民公開講座のお知らせ】

11月28日(土) 14時～16時



～8月からHPがリニューアルします～

新本館I期運用開始に伴い、8月から当院HPをリニューアルします。分かりやすく、必要な情報にすぐにたどり着けるように工夫しました。スマートフォンでも閲覧しやすいようにボタンの配置にもこだわりました。

各診療科のページはもちろんのこと、新設される周産期母子医療センターについても詳しく紹介しますので、ご確認ください！



市民公開講座案内

10月17日(土)に
開催します！
ぜひお越しください!!

入場無料

福山市民病院
市民公開講座
乳がん治療の今
～知っておきたい最近の外科的治療～

参加 無料 事前予約 不要

2026年【日時】 **10月17日(土)** 13:00～14:30
(受付 12:30～)

【講師】 「乳がん治療の基礎」
乳腺甲状腺外科 部長 科長 久保 慎一郎
「整容性を考慮した乳房温存療法
～Suture scaffold technique～」
乳腺甲状腺外科 科長 吉川 公見子
「早期乳がんにおけるラジオ波焼灼術」
乳腺甲状腺外科 科長 山下 哲正

【座長】 乳腺甲状腺外科 副院長 池田 雅彦
乳腺甲状腺外科 統括科長 久保 慎一郎

協賛：日本医師会生乳がん対策センター（OGC100単位）

【場所】 **福山すこやかセンター 多目的ホール**
🚗 駐車場には限りがございます。（福山市三古町南二丁目11-22）

治療しながら働き続けるための個別相談会
(会場内のブースにて、12:30～12:50開催)

お問い合わせ：福山市民病院 病院総務課
電話（代表）084-941-5151

管理者室より



研修医日記



外来診療担当表



公式Instagram



@FUKUYAMA_CITY_HOSPITAL

お知らせ

救急(夜間・休日)外来を受診される方の入口が変わります

救急外来を受診される患者様・救急車の出入口が、
2026年(令和8年) 8月8日(土) 午前10時から新本館へ変わります



夜間・休日に自家用車で救急外来を受診される患者様は、
新本館南側の「救急外来専用駐車場」をご利用ください



交通のアクセス

●山陽自動車道福山東インターより車で2分

「東城・府中」方面へ進んでください

国道182号線に出られたらすぐ右折レーンにお入りください
(「福山市街」方面からは右折が困難です)

●JR福山駅より
車で15分 バスで20分
福山駅前 2・8 番乗場
↓
福山市民病院下車

※広報誌「ばら」に対するご意見をお寄せください。

福山市民病院

〒721-8511 広島県福山市蔵王町5丁目23-1
電話 (084)941-5151 FAX (084)941-5159

ホームページ ●<https://www.fc-hosp.jp/>

電子メール ●shimin-byouin@city.fukuyama.hiroshima.jp



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。